



平成28年2月25日

各位

会社名 日立工機株式会社
 代表者名 執行役社長 前原 修身
 (コード番号 6581 東証第1部)
 問合せ先 広報戦略室長 宮根 康徳
 (TEL. 03-5783-0601)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年1月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成28年3月期通期 連結業績予想数値〔IFRS〕の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 144,500	百万円 7,000	百万円 6,900	百万円 4,900	円 銭 48.32
今回発表予想(B)	141,000	2,000	1,900	500	4.58
増減額(B-A)	△3,500	△5,000	△5,000	△4,400	—
増減率(%)	△2.4	△71.4	△72.5	△89.8	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	135,849	6,388	6,272	3,513	34.65

2. 修正の理由

当期においては、日本が消費税増税の影響による低迷から回復し、大幅な減速が続くロシアも底打ちすることを見込んでおりましたが、日本は新製品こそ販売好調なもの全般的には需要が戻りきらず想定を下回っており、ロシアについても底打ちの兆しがみえず引き続き厳しい状況が続いています。加えて、当第3四半期以降中国、豪州、タイ等の景気が急速に減速したことや中東の地域情勢が悪化したことなどから、売上収益の見通しを修正いたします。上表において、売上収益は35億円の減額となっておりますが、平成27年11月13日付「metabo Aktiengesellschaftの株式の取得に関するお知らせ」にて公表しましたドイツ電動工具メーカーの子会社化が、平成28年3月1日より実現する見通しになったことから当該子会社の3月の売上収益見込み約40億円を含んでおり、これを除いた実質的な減額は約75億円になります。

利益面では、前述の売上収益の修正に伴い営業利益が減少することに加え、コスト構造改革の一環として、受注量が減少し収益力が低下しているアイルランド工場の閉鎖を決定したことからこれに伴う損失を計上します。さらに、ロシアの減速により増加した在庫を当期末で適正化すべく生産調整していたところに、アジア、豪州の減速に伴う生産減が加わり、約10億円の固定費回収減を見込んでおります。その他、M&Aに関する費用など約8億円を計上したことから、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益のいずれも通期予想を修正いたします。

M&Aによるシナジー効果の早期発現を図る一方、不採算工場の閉鎖や過剰在庫の削減といった業績に対するマイナス要因を一掃することによって、来期V字回復をめざしてまいります。なお、アイルランド工場の閉鎖につきましては、本日公表した平成28年2月25日付「子会社の解散及びこれに伴う損失の計上に関するお知らせ」に詳細を記載しております。また、第4四半期の為替レートにつきましては、これまでどおり1米ドル120円、1ユーロ130円を想定しています。

(注) 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上